

メタボリック症候群と腎臓

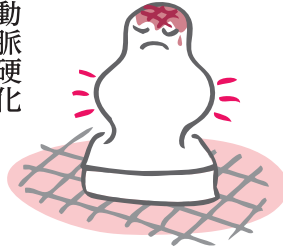
Q メタボリック症候群は腎臓の病気と関係があるのでしょうか。

メタボリック症候群とは、肥満と関連する病気で、内臓に脂肪が蓄積する内臓脂肪型肥満に、高血糖、高血圧、脂質異常症のうち二つ以上が合併した状態をいいます。また、メタボリック症候群は慢性腎臓病を発症する危険因子と考えられています。その発症リスクは、メタボリック症候群にならない場合と

A

メタボリック症候群とは、肥満と関連する病気で、内臓に脂肪が蓄積する内臓脂肪型肥満に、高血糖、高血圧、脂質異常症のうち二つ以上が合併した状態をいいます。また、メタボリック症候群は慢性腎臓病を発症する危険因子と考えられています。その発症リスクは、メタボリック症候群にならない場合と

比較して、約2.2倍に増加します。健康診断受診者で、健診後に腎機能に異常を来すリスクファクターには高血圧、糖尿病、脂質代謝異常が含まれています。これらはいずれも動脈硬化性疾患の発症にも大いに関係しており、腎疾患を併発するばかりでなく、狭心症や心



筋梗塞などの心臓病、脳梗塞・脳出血などの脳疾患といった全身の血管合併症も起こすことが知られています。高血圧、糖尿病、脂質代謝異常は、いずれも生活習慣と

大いに関係する治療可能なリスクファクターです。薬物による治療以外にも塩分制限、カロリー制限、禁煙、適度な運動など生活習慣の改善がその治療には重要で、腎機能が悪くならないように早期に始めることをお勧めします。



高知高須病院
副院長 水口 隆さん